



## 第 1430 回例会報告

平成27年10月1日(木)曇

### 会長挨拶

会長 御子柴文夫

### 歴史を知り、今を捉えて 未来の扉を開こう。

私の居住する岡谷市長地の東堀地区には東堀正八幡宮 通称柴宮という神社があり、本殿や社殿に 16 弁菊の紋章があります。16 弁菊紋章は後鳥羽上皇が愛用し、南北朝時代の南朝の紋として継承されて皇室の紋につながっております。

1350 年頃後醍醐天皇の子・宗良親王がこの地に芝で仮の御座所を造ったことから柴宮と云われたと伝わっております。従って祭神は宗良親王となるわけですが 諏訪の地が甲斐の武田家の所領となったとき諏訪八幡神社以外は取り壊される運命となり 柴宮の祭神を八幡大神として神社の生き残りを図ったため 祭神が変わったと云われております。(現在祀る祭神は2人)

1764 年に舞屋が 棟梁山田清五郎信金・彫物師伊藤儀左衛門等により再建されたという棟札が残っております。これらの職人は当会三村会員のご先祖様立川流の更に先祖となられる方々です。現在も社殿に立派な彫刻が残っており見ることができます。

皇室南朝の流れを汲む神社であり今でも 16 弁

菊の紋章入り紫色の幕を使用しております。諏訪大社の白幕とは異なっており諏訪大社の末社でないことは明らかです。

しかし御柱の小宮祭は盛大に催されており 境内に鎮座する全ての祭神に柱を建ててしまう熱狂ぶりです。柴宮の拝殿には立派な御柱が建てられますが 他の祭神にも細い柱ですが建てられ、数百本建っていると壮観な景色となります。

柴宮界隈の資料は数年前に例会を行なった尼堂墓地の脇の諏訪郷土館に集められております。

私共は地域の歴史をおおまかに記録して残しますが 自身の先祖を数代さかのぼると判らなくなります。現在に生きている限り歴史を正しく記録して残すことは大変に困難なことです。

本日の講師は下諏訪宿の本陣亀屋を 28 代に亘って守ってこられた現当主の岩波太佐衛門尚宏様です。岩波家の歴史と文化を背負っておられます。歴史に支えられた使命感等 私には思いもよらないお考えをお持ちの方であろうと本日の出合いを楽しみにしておりました。

岩波様には私共の集まりに御配慮いただき、岩波様が社長を勤めるガラスの里に出向いての例会を持たたこと心より御礼申し上げます。

### ◇幹事報告◇

1) 2600地区からLYLA参加のお礼の手紙が届きました。

#### 出席報告

|      |       |
|------|-------|
| 会員数  | 40名   |
| 出席対象 | 38名   |
| 出席者数 | 29名   |
| 出席率  | 76.3% |
| 前回修正 | 89.5% |

#### ■ニコニコ BOX

|     |          |
|-----|----------|
| 4名  | 12,000円  |
| 累計  | 155,000円 |
| 目標額 | 60万円     |
| 達成率 | 26.0%    |

#### ■今週のことば

本日は岩波様よろしく申し上げます。 萩田 均

本日はJCとして時間をいただきありがとうございます。 今井高志

3人目の孫が生まれました。初めて男でした。なんとなくうれしいです 河西達雄



諏訪圏青年会議所PR

諏訪湖RCの会員であり、諏訪圏青年会議所副理事長の今井高志会員と OutputTheSoul 委員会 林邦信委員長の来訪をいただきました。

現在諏訪圏青年会議所は合併15年目を迎えメンバー数116名で活動しているそうです



今井高志副理事長

勤交代により、各宿場に本陣が出来、中山道中間点、和田峠入口の南、甲州街道終点の下諏訪宿は重要な宿場として栄えました。多くの大名と皇女和の宮、明治天皇がお泊りになった本陣として、いろいろなものが残っています。特に、平成の現代まで江戸時代の建物がそのまま残っているのは、全国の本陣では数少ない建物です。

諏訪の観光は大変厳しい状況です。本当ならば関東圏、関西圏から約 200~300km という距離として恵まれたロケーション、諏訪大社、諏訪湖、霧ヶ峰、縄文遺跡、シルク等々、観光資源は数え上げればきりが無いのに、1勝3敗、夏は多くの観光客が入るのに、春秋冬は全く振るわないのが諏訪の観光の実情です。



岩波太佐衛門尚宏ガラスの里社長

平成4年キッツによりガラスの里が始まり、3年前の4月にキッツ所有のガラスの里を買い取って独立して、今は年間40万人のお客様をむかえる施設になりました。さまざまな商品開発と、諏訪湖をもっと利用して女性が喜ぶ、ウイッシュ(希望)をかなえることが出来る諏訪を目指して、夢を形にする奇策を考えて頑張っている岩波さんの話でした。

Happy birthday 

第 1430 回例会

諏訪の文化を守りそして発展を目指して

岩波太佐衛門尚宏氏卓話

担当 社会奉仕委員会

本日は諏訪ガラスの里、岩波社長(下諏訪宿本陣岩波家第 28 代当主)の卓話をお聞きしました。例会会場も諏訪ガラスの里をつかわさせていただき、外部例会とさせていただきます。

江戸時代から幕府より、各大名に課せられた参



左より御子柴文夫、三村昌暉、坂村龍玄、山崎勝彦会員